

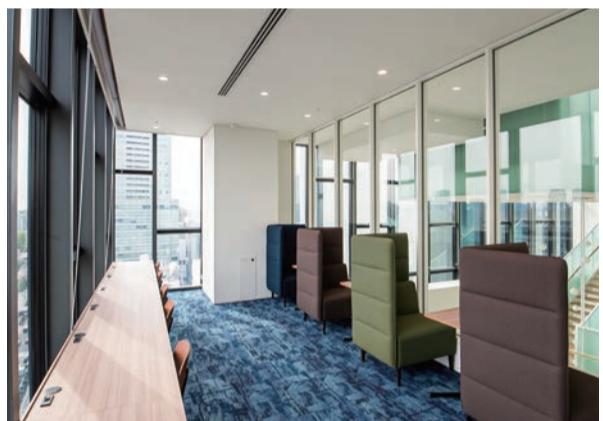
13階 UZUMAKI

右側が渦巻き型書架、奥にはグループ学修用スペースがある



14階 MORI & SORA

山形書架やさまざまな座席があるMORIと、開放感あふれるSORA



数字で読み解く専大図書館(2018年度)

総蔵書数	192万6569冊
本館	131万8403冊
生田分館	9万2091冊
神田分館	49万1562冊
法科大学院分館	2万4513冊
年間総貸し出し数	11万7337冊
年間延べ入館者数	61万883人

※各館の開館状況やデータベースなどの使い方については、図書館ウェブサイトで確認してください。



SMBC

SMBCグループ

確実にやるのはどこでもできる。
確実に速くやるからこそ「価値」になる。

三井住友銀行

図書館特集

図書館長に廣瀬玲子文学部教授が4月1日付で就任した。任期は2年間。今年度、神田10号館に新たな図書館Knowledge Base(ナレッジ・ベース)が完成し、本学の図書館は5館となった。廣瀬図書館長の寄稿とともに、図書館の概要を紹介する。

寄稿

図書館長 廣瀬玲子

た。図書館には、その歴史を物語る学術図書、参考図書、文学書などが所蔵され、皆さん利用を待っています。特に今回お知らせ

専修大学は1880(明治13)年に創立された伝統ある大学であり、今年140周年を迎えた。この記念すべき年に、神田キャンパスに新しい図書館であるKnowledge Baseがオープンし、わくわくしています。本学は、アメリカの大学に留学した4人の若者が、身についた知識を、日本語に翻訳し、日本語で教えようと考えて設立されました。

明治期における新しい学問の翻訳。それは学問のための日本語の創造でもあり、日本の近代的な学問の始まりでもありました。そして今日に至るまで、日本の学問は多くの先人の努力によって発展を続けてきました。



大学時代 思い出の作品

大学に入ったころ、よく読んでいたのが福永武彦の小説でした。『草の花』『廃市・飛ぶ男』など新潮文庫に入っている作品に始まり、他の出版社の文庫や単行本へと興味のおもぐままに読みました。福永は大学ではフランス文学を専攻しましたが、日本の古典の翻訳をしたり、映画『モスラ』の原作者の人でもあります。多方面に才能を發揮した作家です。加田伶太郎(ダレダロウカのアナグ

多様な言語とともに軽やかに生きる図書館

したいのは、Knowledge Baseで、日本語の書物と外国語の書物を、書架を分けずに並べて配置していることです。日本語の本を手にしたあとに、すぐ隣にある同じ分野の外国語の本を手にすることができる。

ラルの筆名で推理小説も書いています。大林宣彦監督が福永の小説を映画化した『廃市』(1983)が公開されるとすぐに映画館に見に行き、そのあと友人を誘ってもう一度見たことを憶えています。「廃市」とは何だろうと思われるかもしませんが、滅びゆく町というような意味であり、ある大学生が卒業論文を書くために、時間が止まったような町でひと夏を過ごすなか、物語は展開します。専修大学図書館にはDVDが所蔵されています。

MIZUHO

「みずほ」は、サステナビリティへの取り組みを通じて、豊かな環境、経済・産業・社会の持続的な発展・繁栄に貢献していきます。

